

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

チャクラギール山群にて—愛すべき山の人々—

キャンプサイトから仰ぐチャクラギール山群



今回も、山の人々との出会いのお話です。去る年の8月、中国シルクロードトレッキングの旅の終りに、パキスタン国境に近い中国辺境地域の氷河探勝に出かけた。

場所は新疆ウイグル自治区・カシュガル市南西約170kmに位置するチャクラギール山群（6500m級の山群）北面のオイタグ氷河である。カシュガルから中巴公路をパキスタン国境に向かう途中のオイタクアグスで公路を外れ、オイタグ川沿いにランドクルーザー車を取り入れて道なき道の走行約4時間で、氷河舌端近くの標高2780mの台上にテントを張った。チャクアグスという名のこの地は、正にメルヘンの世界である。草原を渡るさわやかな風、針葉樹の木漏れ日を縫って流れる小川のせせらぎ、青空に映えるチャクラギール山群の威容と落差3千mの光り輝く大氷壁、はるかに草を食む羊の姿と遠くのパオから時折り聞こえるコーランの響きなど、ここには時間の経過を忘れる安らぎの空間があった。



キャンプサイト



草原の一時

そんな夕方、昼の放牧から帰った近辺のパオの住人たちが、テントの周りに集まって来た。ほとんどがキルギス族で、羊の放牧に明け暮れる、貧しいが素朴な人たちである。身振り

り手振りで会話が始まる。お互いの持ち物自慢、食べ物自慢、奥さん・子どもの自慢、羊の自慢、おらが山チャクラギールの自慢など、たわいのない話題ながら、和やかな交歓が夜遅くまで続いた。ここは、社会主義も、多民族問題も、全く無縁の世界である。



氷河ハイキング

翌日、氷河ハイキングから帰って昼寝をしているうちに盗難にあった。洗濯

物を干していたが、盗まれたのは何と洗濯バサミだった。洗濯物はきちんと1カ所にまとめて重ねて掛け、1個だけ残した洗濯バサミでしっかり止めてあった。日本の洗濯バサミがどうしても欲しかった、愛すべき泥棒さんのお話でした。

村人と一緒に

